

## 好況よし

松下 幸之助

神社は心のふるさと  
未来に受け継ごう「美しい国ぶり」

松下幸之助

正しい経営が行われて  
いる限り、

不況こそ好機なのだ。

そして不況は人が

つくつたものだから、

人に不況が解決できな  
いはずはない。

『松下幸之助 叱られ問答』

和歌山県生まれ。パナソニック（旧  
松下電器産業）グループ創業者。戦  
後困窮をきわめた世相を目の当たりにし、「人間は限りなき繁栄と平  
和と幸福を原則として与えられて  
いる」との考え方からPHP（繁栄に  
よって平和と幸福を）運動を始め  
昭和二十一年に実現するための研  
究機関としてPHP研究所を創設。  
昭和五十五年、二十一世紀を担う指  
導者の育成を目的に、松下政経塾を開  
塾。平成元年に九十四歳で逝去。

## 神道知識への誘ひ「鎮花祭」

鎮花祭は疫病がはやらぬ様、疫神を  
おもてなし、和め鎮める祭です。

『新拾遺和歌集』に「のとかなる春の  
まつりの花しづめ風おさまれと尚い  
のるらし」とあるように、春花が咲く  
ころ人の心は不安定となり、そのす  
きに疫神が病をおこすと考えられて  
います。桜の花の咲くころに行われ  
る鎮花祭の起源は、第十代崇神天皇  
の御代に疫病がはやり、大物主神を  
祀り鎮花祭をしたのが始まりです。  
古くは恒例の祭として、三月末に多  
くの神社で行われ、神前に桜花の枝  
が奉られるのが特徴です。

